ケイ・エイチ工業 株式会社

設備メンテナンスで技術力、デジタル縮尺定規も開発

海外発注可　納期相談　企画力自信有　コスト相談　オンリーワン技術　メイドインジャパン　試作可小ロット　量産対応

高度な溶接で顧客が求める形状を次々と組み立てる

業務内容　設備メンテナンスのほか、自社製品も続々と開発

化学から医薬品、食品などのさまざまな生産・処理に使われるプラント（設備）のメンテナンス（修理・点検）を主力としている。得意な溶接で製缶や組立を行い、見積もりから設計、製作、据付まで一貫して顧客を支援する。自社ブランド製品の開発を志すメーカーでもあり、平成28年1月には設計図面の実寸値の不記載箇所を簡単に測れるデジタル縮尺定規「一発！早出しクン」を発売した。

ほかにも、工業用水を薬品を使わず浄化するセラミックス製品、上下水道や電線を通す小径の地下トンネルを掘る掘削機なども事業化している。

強み　顧客に寄り添い難題解決、エンジニアリング力に自信

平野祥之専務は「当社にはさまざまな企業が『駆け込み寺』のように相談に訪れる」と説明する。単なるメンテナンスだけでなく、生産中止となった古い機械や図面がなくてお手上げとなった海外製機械の修理、イメージの段階でしかない設備の開発など、難しいテーマを次々と引き受けている。

競合他社とは違い、断ることなく顧客に寄り添って難題をこなすたびに技術力も高め、頼りにされてきた。顧客が試験レベルで開発したものを、実際の製品として形にするエンジニアリング力に自信がある。顧客は約40社で、約半数を大手企業が占めている。

自社製品　メーカーを志向、「一発！早出しクン」も発売

平野専務は「我々は常に『メーカーになりたい』という思いを持ち続けている」と意欲を示す。エンジニアリング力を蓄え、自社製品を開発できる実力も備えてきた。開発するのは自社技術の延長線上や、メンテナンスの過程での必要性から生まれたアイデアなど、身近なものが多い。

例えば「一発！早出しクン」では、平野健治社長が定規と電卓、三角スケールを使って実寸値の計算に悪戦苦闘していた時、アイデアが浮かんだ。チタンの薄板を溶接して薬剤などによる腐食を抑えるチタンライニング技術でも、特許を取得している。

今後の展望　中国や東南アジアで事業のグローバル化も視野

平成24年には中国の商談会に参加したほか、平成27年からは2年続けてタイ・バンコクでの展示会「メタレックス」に出展するなど、顧客のグローバル化などに伴う海外事業の準備も進めている。中国やタイでは設備メンテナンスの認識が低いため、日系のメンテ会社に進出を求めるニーズが強い。

さらに水害の多いタイでは治水のニーズも高いため、治水用に小径掘削機の需要開拓を図っている。長期的には、ベトナムなど日系企業の進出が多い国から研修生を招き、将来、彼らに母国でのメンテ拠点の運営を任せる海外事業の構想を練っている。

火力発電所などで使用されるガス乾燥機

各種機器が並ぶ（ガス乾燥機）

当社の歴史

大阪28

実兄の会社に勤めていましたが、のれん分けをして創業しました。社名は私のイニシャルで、「経営の智恵＝ケイ・エイ（の）チ」も意味します。ものづくりのさまざまな支援を通じて、お客様とより良きパートナーシップを築き、ともに成長します。夢かなう安全・快適な職場づくりを目指します。

代表取締役 **平野 健治**さん

http://www.kh-co.jp/

主な事業内容
化学・医薬品・食品プラントにおけるプラントのメンテナンス

主な取引先（納入先）
半導体、食品飲料、製鉄、製油の各メーカー、産業廃棄物処理施設、公共事業関連

●住　所　〒599-8246 堺市中区田園969-1
●TEL　072-234-0781
●FAX　072-234-0751
●創　業　平成9年1月
●設　立　平成9年1月
●資本金　1,505万円
●従業員　10名